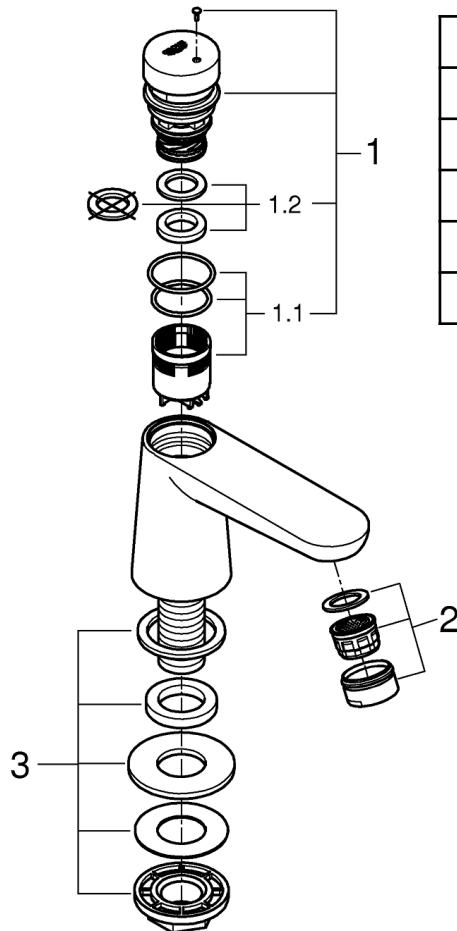
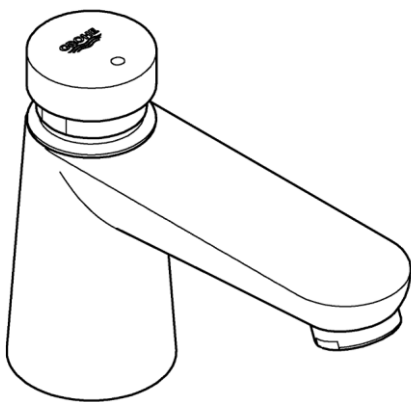


ユーロエココスモポリタン 自閉単水栓 据付説明書 (お客様にお渡しください)

- ☐ 製品の機能が十分に発揮されるように、この据付説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
- ☐ この据付説明書に記載されていない方法で据付され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- ☐ 据付完了後、試験運転を行い、異常が無いことを確認するとともに、「取扱説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- ☐ 施工完了後は、この説明書を同梱の取扱説明書とあわせてお客様にお渡しください。

※欠品、キズ等が無いかわかり前には必ず確認してください。万一欠品、キズ等があった場合はご購入先へ早めのご連絡をお願いいたします。



図番	名称
1	セラミックカートリッジ
1.1	シールキット
1.2	リミッター
2	エアレーター
3	締付セット

厚み25mm以下のカウンターに取付け可能です。
カウンター穴あけ寸法はφ22～φ35で行ってください。

安全上の注意

据付前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく据付してください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠注意

お客様に引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。

※凍結破損で漏水し、家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

据付完了後は、配管接続部分及び水栓から、水漏れの無いこと、開閉レバー、ハンドルが閉じていることを確認してください。

※漏水で、家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

お湯のみでご使用の場合は、高温にならないよう十分ご注意ください。

使用条件

●給水、給湯圧力

◇貯湯式温水器(ボイラー、電気温水器)と組み合わせる場合

最低必要圧力0.05MPa[0.5kgf/cm²](流動圧)～最高圧力0.74MPa[7.5kgf/cm²](静水圧)の範囲とします。

給水・給湯圧力は必ず同圧にしてください。

やむなく圧力差が生じる場合は最大3:1以内になるようにしてください。◇給水圧力が0.74MPa[7.5kgf/cm²]を超える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力に減圧してください。

●水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓の設置をおすすめします。

●給湯に蒸気を使用しないでください。

据付前の注意

●給水は上水道に接続してください。

※井戸水、温泉水など異物を多く含む水には使用できません。

●開梱、取り付けの際には商品の表面に傷をつけないように十分に注意してください。

●必ず配管中の異物(ゴミ、砂等)を完全に洗い流してください。

●配管接続部を隠さないでください。

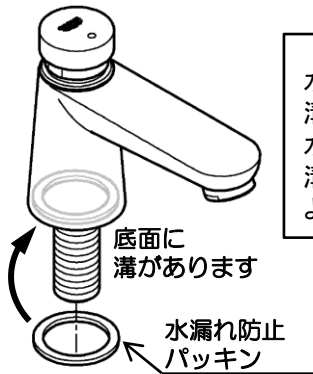
本体を確実に固定する為、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

●給水・給湯管緩み防止の為、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

施工手順

本体の取付け

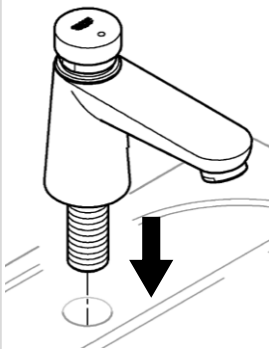
1. 本体底面に水漏れ防止用パッキンを取付けます。 3. 吐水口の向きに注意しながら、ゴム製平パッキン、スリップワッシャーを挿入し、締付ナットで固定します。



ポイント

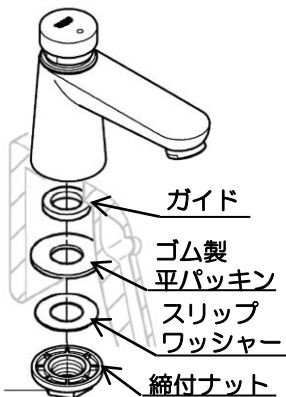
水栓本体の底面には溝があります。水漏れ防止パッキンは溝にはめこみ、ずれないように注意してください。

2. 水漏れ防止用パッキンがずれないように注意し、取付穴に本体を設置します。



注意

※吐水口が正面を向くよう設置してください。
※施工中、本体を倒さないでください。
洗面ボールなどが破損してケガをする恐れがあります。
※水漏れ防止パッキンが取付穴の外周に収まっていることを確認して下さい。
漏水の原因になります。



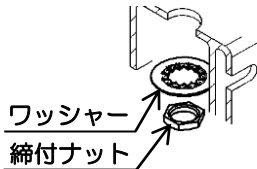
ポイント

締付工具は27mm幅をご使用下さい。

注意

※ゴム製平パッキンとスリップワッシャーは取付穴裏面に当たるまで挿入してから、締付ナットをしっかり締め付けてください。
※締付けが足りないと水栓本体がぐらついたり、取付穴下への漏水等の原因となります。

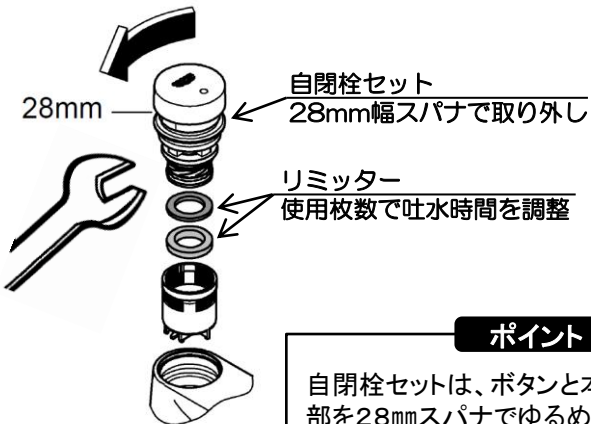
【特殊仕様の締付ナットの取付方法】



特殊仕様で締付けセットの構成が異なる場合があります。ワッシャー、締付ナットの順に挿入し、締付ナットで固定します。

吐水時間の調整

自閉栓セット内部のリミッターを調整することにより、吐水時間を変えることができます。

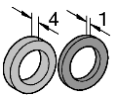
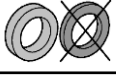
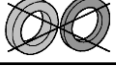


ポイント

自閉栓セットは、ボタンと本体の間の六角部を28mmスパナでゆるめて取外します。
※工具をご使用の際は、製品を傷つけないよう、十分ご注意ください。

注意

秒数は目安です。
ボタンを押す力や水圧等条件によって異なります。

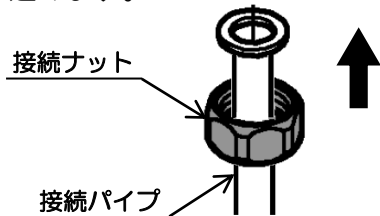
リミッター	吐水時間
	リミッターを2枚使用 (ご購入時) 約7秒
	厚いリミッターのみ使用 約15秒
	リミッターを使用しない 約30秒

施工手順

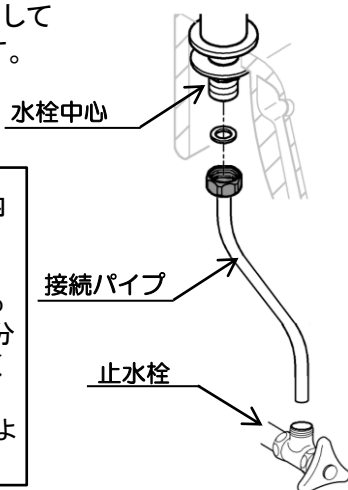
給水管の取付け

別売り品 12803000(接続パイプ)+12901000(接続ナット)+12042N00(接続アダプター)をご使用の場合

1. 接続ナットのねじ部が上側になるよう、接続パイプに差し込みます。



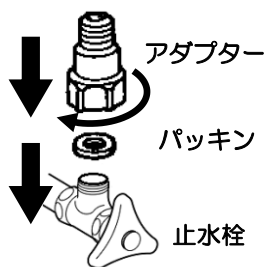
2. 止水栓中心と水栓接続部の中心に合うよう、パイプベンダーを使用して接続パイプを曲げます。



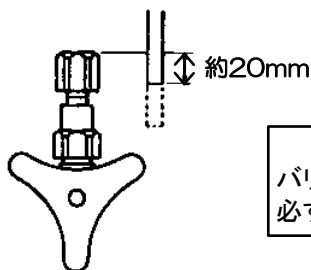
注意

※止水栓より50mm以内では、パイプを曲げないでください。
※パイプはなるべくゆるやかに曲げ、垂直部分が長くなるようにしてください。
※パイプがつぶれないように注意してください。

3. 止水栓に接続アダプターを仮固定します。



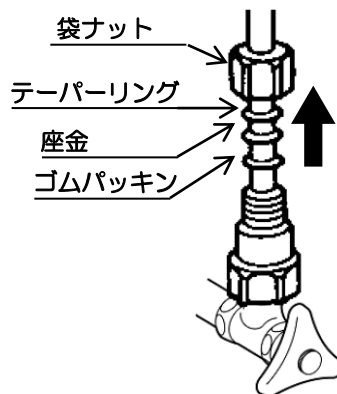
4. 接続パイプの差込み代20mmを確保し、余った部分をパイプカッター等で切断します。



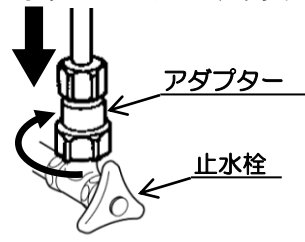
注意

バリが出来た場合は必ず取り除いてください。

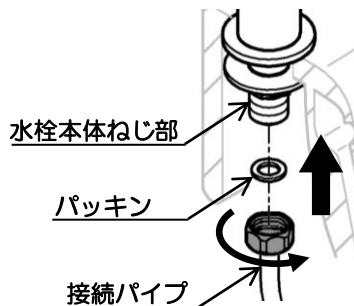
5. 給水パイプに袋ナット、テーパリング、座金、ゴムパッキンの順に入れて、アダプターに差し込みます。



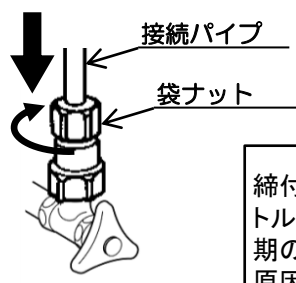
6. アダプターを止水栓にねじ込み、確実に固定します。



7. 接続ナットにパッキンを差し込んで、本体の接続ねじ部にねじ込み、確実に固定してください。



8. 接続パイプをアダプターにしっかり差込み、スパナ等で袋ナットを完全に締め付けます。



注意

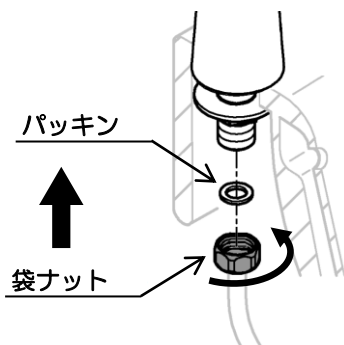
締付は、200～300kgf・cmのトルクで行ってください。初期の締付が弱いと漏水の原因になります。

施工手順

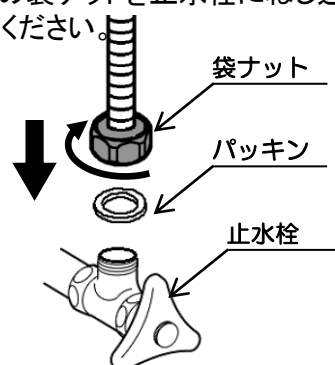
給水管の取付け

市販品 フレキホースをご使用の場合

1. 市販のフレキホースの袋ナットを本体ねじ部にねじ込み、確実に固定してください。



2. もう一方の袋ナットを止水栓にねじ込み、確実に接続してください。



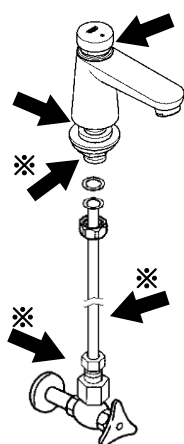
注意

※市販のフレキホースをご使用の際は、ご購入メーカーの使用説明書の注意事項にしたがって施工してください。
※フレキホースがねじれないように配管してください。加圧した際ホースを取り付けたナットの緩みの原因になります。
※接続の端面から極端にフレキチューブを屈曲して、施工しないでください。

取付後の確認

接続部の水漏れ

吐水、止水を数回くりかえした後、接続部からの漏水が無いか確認してください。



注意

万が一漏水が確認された場合はパッキンを新品に取り替え、再度規定のトルクで締付を行ってください。

水量の調節

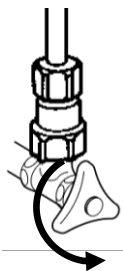
お使いいただく現場で、適量が得られるよう、止水栓で調節します。



取付後の確認

ストレーナーの清掃

1. 止水栓を閉じます。



注意

必ず止水栓を閉じてから作業して下さい。

2. 自閉栓セットからストレーナーを手で引っ張り取り外してください。

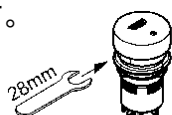


自閉栓セット



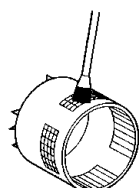
ストレーナー
(手で取り外し)

2. 自閉栓セットの胴体部を28mmスパナで回して取り外します。



自閉栓セット
(工具で取り外し)

3. ストレーナーのメッシュ部分を歯ブラシ等で清掃しゴミを取り除いてください。



ストレーナー

注意

- ・ストレーナーはプラスチック製ですので、取り扱いには注意してください。
- ・ストレーナー清掃後は、必ず工具を使用して自閉栓を取付けて下さい。

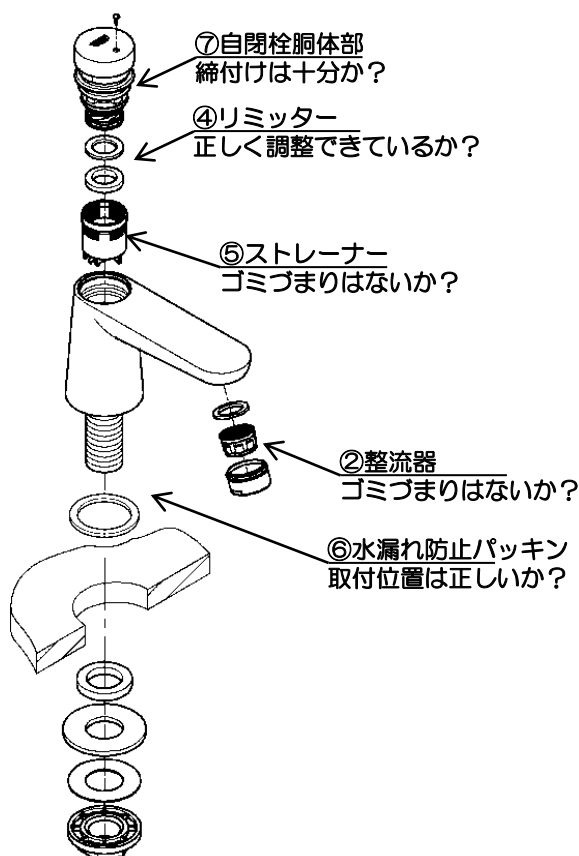
故障と点検

製品設置後に万一故障した際は、次の要領で分解及び点検を行って下さい。

現象	点検箇所
吐水量が少ない	①、②、④、⑤
水が止まらない	③、④
ボタンがガタつく	⑦
カウンター内の漏水	⑥



①止水栓
全開されているか？
圧力は十分か？



グローエジャパン株式会社

ホームページアドレス <https://www.grohe.co.jp/>